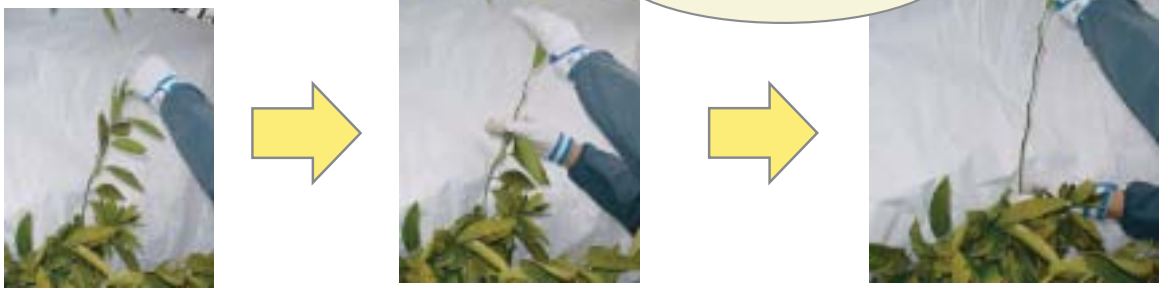
温州ミカン「大津四号」の摘葉による中玉果実生産

樹勢が強い「大津四号」で，中玉果実を生産する長さが 10cm 以下の結果母枝を数多く揃えて作るには，11 月～1月の強い結果母枝（25cm 以上程度）の摘葉処理が有効です。

摘葉の方法



☞ 強い枝の先端から葉をしごいて摘みます。

処理後

摘葉処理によって中玉（LM）果実比率が12%高くなりました

摘葉処理2年後の収穫果実の階級構成

処理区	3L以上 (%)	2L (%)	L (%)	M (%)	S (%)	2S以下 (%)
摘葉処理区	8.4	23.2	31.0	24.1	10.3	2.0
無処理区	19.4	27.7	24.6	18.8	6.5	1.0

調査日:2002年12月13日、各区3樹調査の平均

© 2003 広島県立農業技術センター 果樹研究所 常緑果樹研究室